

---

# 十年

花浅葱羽羅

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

十年

### 【コード】

N6878M

### 【作者名】

花浅葱羽羅

### 【あらすじ】

私たちがやらなければならない演劇。

十年とは長いものだ、年老いた手は私の頭をなでた。ゆっくりと、優しいその手の動きに私は心地よさを覚えた。

「うん、そうだね。」

と、私は言う。母は笑む。柔らかで穏やかな日差しと、時間の流れに思わず視界がぼやけそうだった。変わることはない事実があまりにも大きすぎた。それを受け止めるだけの器がぎりぎりだけど、あつてよかったと思う。年老いた手をゆっくりと自分の白い手で頭から下ろし、布団の上に静かに寝かせた。そして、何も言わずに畳みのその部屋から出た。正座していた足がぴりぴりとしびれて痛いけど、立ち止まって呼び止められるわけにはいかなかったし、立ち止まってうつむいたら雫がこぼれ落ちそうだった。

自分の部屋に戻ると扉に背中を任せて、ずるずると崩れるようにうずくまる。部屋には私の幼い嗚咽が響いた。大切な大切な、あの人はおかしくなったまま戻らないのだ。そう、本当は十年なんてたつてないけど、母と私はいつまでも、お金の出ない茶番を続けるしか道は残されていないのだ。

嗚呼、神様なんてこれほどまでに残酷な試練を私達に与えたのでしょうか。

(後書き)

この前に何があったのかはあまり考えてませんが、考えによっては、少女にとってあまりにむごい仕打ちなのでしよう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6878m/>

---

十年

2011年1月3日21時07分発行